



宮城小通信

郡山市立宮城小学校

学校便り No.24

令和5年7月5日

文責：校長 伊藤 孝行

7月5日は校地内交通安全の日です。



2012年7月5日から、もう11年になります。当時2年生だったあの子が生きていれば18歳の成人になっているはずでした。

保護者の皆様の記憶にあるでしょうか？

2012年7月5日に、郡山市内小学校の校地内で交通死亡事故が起きました。

この死亡事故は、登校して正門近くにいた2年生の男の子が、忘れ物を届けに来た保護者の車にひかれて亡くなったという事故です。

被害者が児童、加害者が同じ学校の保護者というとても悲惨な事故でした。

それ以来、郡山市では7月5日を「校地内交通安全の日」として、この悲惨な事故を繰り返さないように語り継ぎできました。

また、「歩車分離」といって、歩行者(子ども)と車が一緒にならないよう動線を分け、安全を確保するようになりました。本校でも子どもたちが登校する時間帯は、学校へ進入禁止になっているのはそのためです。

朝の進入禁止の時刻は多くの保護者の皆様を守っていただき、子どもたちは安全に登校できていますことに感謝申し上げます。

4月6日に始まった1学期も気付けば残すところ10日余りとなりました。これから、学期末のまとめをしっかり行い夏休みに備えていきます。

5・6年生宿泊学習は大成功でした。

7月3・4日に行われました宿泊学習は天候に恵まれ、メインの海での活動が十分に行うことができました。私は、宿泊学習の引率で何度もいわき海浜自然の家を利用しましたが、今回がベスト・No.1の好条件でした。

特に3日午後からの海で行った「いかだ乗り」「ボディボード」は、水温が高く長い時間海に入っていても寒さを感じることなく、子どもたちは、

思いっきり海を楽しむことができました。



日産いわき工場の見学や磯遊び、アクアマリンふくしまの見学も子どもたちには貴重な体験となりました。また、一緒に活動した海老根小学校さんの5・6年生とさらに仲良くなれたことも今回の大きな収穫でした。

宿泊学習に向けて体調を管理し、準備を整え送り出してくださった保護者の皆様に子どもたちの笑顔をたくさん届けることができとても嬉しく思っております。

尚、子どもたちの活動の様子は、宮城小ホームページにたくさん掲載しておりますので、そちらもご覧ください。

教養講座で心肺蘇生講習会を行いました。

6月30日(金)の授業参観後に、PTA教養講座として心肺蘇生講習会をおこないました。

講師は、郡山消防署中田分署の方々をお願いしました。



夏休みのプール開放もあるため、皆さん真剣な態度で講習に参加していました。